

創世記52 創世記39章1節～23節

「ポティファルの僕となるヨセフ」

イントロ：

1. 創世記37章～50章は第11番目のトルドット（歴史、経緯）である。
2. 文脈を確認する。
 - (1) ヨセフ物語は、「ヤコブ一家」から「イスラエル民族」へのリンクとなる。
 - (2) 37章からヨセフの物語が始まった。
 - (3) 38章でユダの物語が挿入された。ヤコブの一家がエジプトに下る理由。
 - (4) 39章は、エジプトでのヨセフの生活を描いている。
 - (5) ヨセフとキリストの関係
- ①新約聖書には、ヨセフはキリストの型だと教えている箇所はない。
- ②しかし、ヨセフとキリストの間には類似点が多くある。
3. メッセージのアウトライン
 - (1) 僕となるヨセフ（39：1～6）
 - (2) 誘惑に会うヨセフ（39：7～12）
 - (3) 不当に非難されるヨセフ（39：13～23）
4. きょうのメッセージは、私たちに何を教えているか。
 - (1) ヨセフに起こったことはキリストにも起こる。
 - (2) キリストに起こったことは私たちにも起こる。
 - (3) つまり、ヨセフに起こったことは私たちにも起こるのである。

このメッセージは、キリスト論的に創39章を解説しようとするものである。

I. 僕となるヨセフ（39：1～6）

1. ヨセフはポティファルに売られる。（1節）
 - (1) 創37：36と創39：1とがつながっている。
 - (2) 商人はヨセフを銀20枚で買い取った。
 - (3) いくらで売ったかは分からないが、大儲けをしたことは確かである。
 - (4) しかし、一番儲けたのはポティファルである。

2. ポティファルという人物

(1) パロの廷臣

- ①ヘブル語「サリス」。通常は、宦官のこと。
- ②彼には妻がいるので、宦官ではない。
- ③パロの宮廷で仕える官僚のこと。

(2) 侍従長

- ①ヘブル語「サール・ハ・タバヒム」。ボディガードの長。衛兵隊の隊長
- ②別訳は、死刑執行人の長。

(3) エジプト人

3. ヨセフの立場(2節)

(1) ポティファルの奴隷である。

(2) しかし、「主が彼とともにおられた」。

- ①「主」と訳された言葉は、「ヤハウエ(アドナイ)」である。
- ②これは、固有名詞であり、契約の神の御名である。
- ③アブラハム契約の条項のゆえに、神はヨセフとともにいる。
- ④2節、3節(2回)、5節(2回)、

(3) 長服を取られ、奴隷に売られても、残されたものがある。

①高潔な人格

②信仰

(4) 世界の文化の中心地エジプトの世界観よりも、ヨセフの世界観の方が大きい。

①ピラミッドが立てられていた時代。

②ヨセフはポティファルの家から逃亡することもなく、そこで忠実に仕えた。

4. ヨセフの働き(3～6節)

(1) 主がヨセフのすることをすべて成功させてくださった。

(2) ポティファルは、それがヘブル人の神によるものであることを認めた。

- ①ポティファルが、主を信じたわけではない。エジプト人は偶像礼拝者。
- ②祝福の結果を見て、ヨセフの神の偉大さを認めたということ。

(3) ヨセフはポティファルから信頼された。

①最初は、下働きから始まった。

②小さなことに忠実であったので、大きなことを任された。マタ25:21

③ついに、側近の者となり、家の管理と全財産の管理を任された。

(4) アブラハム契約の条項

- ①ポティファルはヨセフを大切にした。
- ②主はヨセフのゆえに、ポティファルの家を祝福された。
 - (5) ポティファルは、自分の食べる食物以外は、すべてヨセフに委ねた。
- ①エジプト人は、ヘブル人が用意した食事は食べない。
- ②創43:32 参照

II. 誘惑に会うヨセフ (39:7~12)

1. ポティファルの妻の誘惑

- (1) 「ヨセフは顔も美しく、体つきも優れていた」(新共同訳)
- (2) ヨセフに命令した。
 - ①「わたしと寝なさい」(口語訳)
 - ②「私と寝ておくれ」(新改訳)
 - ③「わたしの床に入りなさい」(新共同訳)
 - (3) これは強い誘惑である。
- ①主人の妻からの命令である。
- ②異国で孤独な生活を送っている。
- ③誰も見ていない。
 - (4) 背後にサタンがいる。
- ①もしこの誘惑に乗るなら、神の計画は破壊される。

2. 拒否するヨセフ

- (1) 「あなた以外には、何も私に差し止めておられない」
- ①これは、エデンの園の「善悪の知識の木」と同じである。
- ②エバにとっては、ひとつだけ禁止されていることが、誘惑への力となった。
- ③ヨセフにとっては、誘惑を拒否する力となった。
 - (2) 主人の信頼を裏切ることにはできない。
 - (3) 神を裏切れない。
- ①兄弟たちから裏切られた。
- ②神だけが信頼できるお方である。
- ③夢の実現へと進み始めている。

3. しつこく迫るポティファルの妻

- (1) 誘惑が繰り返される。
- (2) ヨセフは、最大限の努力をし、彼女に近寄らなかった。

(3) ある日、家の中に彼女しかいない状況が訪れた。

① 仕組まれた状況

② 彼女は、ヨセフの上着をつかんで、ヨセフに命令した。

(4) ヨセフは上着を彼女の手に残し、外に逃げた。

(例話) ビリー・グラハム博士から聞いた話

Ⅲ. 不当に非難されるヨセフ (39:13~23)

1. ヨセフを誘惑することは失敗に終わった。

2. 彼女は怒った。

(1) その家の者どもを呼び寄せた。

(2) 夫を非難した。夫婦関係が疑われる状態である。

① 「もてあそぶために」(新改訳)

② ヘブル語「ツァハク」。イシュマエルがイサクをからかった時の言葉。

③ 「わたしたちに戯れます」(口語訳)

④ 「わたしたちはいたづらをされる」(新共同訳)

(3) ヨセフを非難した。

① ヘブル人という言葉は、軽蔑を表す。

② 上着が物的証拠となる。現実味のない証拠。

③ ヨセフの上着が、嘘のための証拠として利用されるのは2度目である。

④ 義人が、罪もなく非難されることはよくある。

(4) 彼女は、罪を恥じるのではなく、義人に復讐を図った。

3. ヨセフの投獄

(1) ポティファルは妻の言葉を信じた。

(2) 神の摂理が働いている。

① ポティファルはヨセフを死刑にすることができた。

② 彼の怒りは、途中でとどめられた(妻の証言への疑い、神の介入)。

③ 王の囚人が監禁されている監獄(最も厳しい監獄)に入れられた。

4. アブラハム契約の祝福

(1) 主がヨセフとともにおられた。

① 21節、23節(2回)

(2) ポティファルの家で起こったのと同じことが起こった。

- ①監獄の長の信頼を得た。
- ②すべての囚人の世話を委ねられた。
 - (3) 獄中のヨセフの状態：詩篇 105：18～19
 - 「彼らは足かせで、ヨセフの足を悩まし、ヨセフは鉄のかせの中に入った。彼のことばがそのとおりになる時まで、【主】のことばは彼をためした」
- (4) ヨセフを支えたものは、2つの夢と、主がともにおられるという確信。

結論

1. 僕としてのキリスト

- (1) キリストは、ローマ帝国に支配されていたユダヤに来られた。
- (2) 僕としての生涯を歩まれた。
- (3) しかし、神はともにおられた。マタ 1:23 参照。
「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」(訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。)
- (4) ローマ総督ピラトの前でイエスはこう言われた。ヨハ 18：36
「わたしの国はこの世のものではありません。もしこの世のものであったなら、わたしのしもべたちが、わたしをユダヤ人に渡さないように、戦ったことでしょう。しかし、事実、わたしの国はこの世のものではありません」

2. 誘惑に合うキリスト

- (1) 荒野での誘惑
 - ①メシアとして誘惑に合っている。
 - ②もしその誘惑に乗るなら、神の計画は破壊される。
 - (2) サタンはしつこく迫った。
- ①ペテロの口を通して
- ②ゲツセマネの園で
- ③十字架から降りて来いという声で

3. 不当に非難されるキリスト

- (1) イザ 53：4～6の預言
- (2) イザ 53：10の預言

4. ヨセフに起こったことはキリストに起こり、私たちにも起こる。